

第IV期 第19回 国立天文台科学戦略委員会議事抄録

日時：2026年4月28日（火） 13時15分～15時05分

場所：国立天文台大会議室、Zoom

出席者：

（台外）秋山正幸委員（Zoom）、高田昌広委員（Zoom）、高橋慶太郎委員（Zoom）、溝崎智佳委員（Zoom）、戸谷友則委員（Zoom）、堀田英之委員（Zoom）、渡邊誠一郎委員（Zoom）

（台内）齋藤正雄委員、都丸隆行委員（Zoom）、竝木則行委員、野村英子委員、本原顕太郎委員（委員長）、吉田道利委員

欠席者：

（台内）井口聖委員

陪席：

（台外）運営会議：河野孝太郎委員

（台内）土居守台長、堀久仁子特任専門員（Zoom）、中野道明研究推進課長、細谷晶夫特命課長、大内香織研究支援係長

1. 確認

1.1 国立天文台科学戦略委員会名簿および出席者確認

本原委員長から、出席者の確認を行った。

1.2 第18回議事抄録の確認

本原委員長から、3月24日に開催された第18回国立天文台科学戦略委員会の議事抄録（案）について説明があり、承認された。

1.3 第16回国立天文台サイエンスロードマップ策定委員会議事抄録の確認

本原委員長から、3月24日に開催された第16回国立天文台サイエンスロードマップ策定委員会の議事抄録について説明があり、確認を行った。

2. 報告と議論

2.1 委員の辞任について

吉田委員より、生駒委員からアストロバイオロジーセンター長就任による業務との兼ね合いにより辞任の申し出があり、本委員会の委員について辞任することを了承した旨の報告があった。

2.2 SRM 報告書最終案について

吉田委員から、3月25日に送付されたSRM報告書最終案についての運営会議委員間での議論についての紹介があった。この最終案は、運営会議においてメールベースでの審議が行われたが、3月31日までに議論が収束せず、2026年5月開催の運営会議へ審議を持ち越すこととなったことが説明された。また、サイエンスロードマップ委員会はすでに任期満了により解散しており、本件が同委員会へ再度差し戻されることはないこと、また運

営会議から新たな諮問がない限り本委員会で再度審議する予定はないことが説明された。

運営会議から修正を求められた場合は、正当性を担保するため、元 SRM 委員の関与を含めた形で対応することとした。

(主な意見交換)

- 諮問を受けた SRM 委員会が作成した報告書を、上位の運営会議が修正するのは通常の手続きとは違うのではないか。
- 著者は SRM 委員会であり、その文書を他の委員会が修正するのは不適切だと思うので、修正する場合は SRM 委員会を再招集すべきである。
- SRM 委員会がすでに任期終了していること、修正が求められた場合は改めて関係委員を含めた形での議論が必要になるだろう。
- 基本的には運営会議で修正を加えるということはある程度と理解している。

2.3 各提案へのフィードバックについて

本原委員長から、SRM 各提案のフィードバックについて照会があった。

5 月 7 日を目途に最終確認を行い、5 月 8 日以降に結果を研究推進課へ送付するよう、依頼があった。

2.4 SRM 委員会から科学戦略委員会への申し送り事項

本原委員長から、各項目の SRM 委員会から科学戦略委員会への申し送り事項について説明があった。

今回この場で全て議論するということはしないが、次回以降の SRM の修正などに反映することが想定されている旨説明があった。

2.5 実施計画策定手続きの検討状況

齋藤委員から、実施計画の策定状況および国際外部評価の予定について報告があった。

(主な意見交換)

- ここ数年間の将来投資予算減少の理由は何なのか。
- 電気代高騰および円安によるドル建て支出増が主因であると。
- 将来投資比率を明確に示さないと削減対象になりやすいため、3 億円目標を堅持していただきたい。

2.6 2026 年度将来シンポジウムについて

本原委員長から、2026 年度将来シンポジウム開催について照会があり、開催日程は 12 月 15~16 日と決定した。また、LOC は科学戦略委員会台内委員、研究推進課、特命課長が、SOC は科学戦略委員会委員長、執行部 1 名、および各コミュニティとの連絡係となる科学戦略委員会台外委員が就任することとした。

(主な意見交換)

- コミュニティの将来計画検討状況は何回かやっているが、今回はそのアップデートを聞

きたいというイメージか。

- コミュニティに対し優先順位がどう決まったか確認し、実施計画の策定状況で、コミュニティからの意見を少しまとめるという発表をしていただくことを考えている。
- コミュニティの意見を出してもらうには、一度コミュニティの集まりがないと難しいのではないか
- 最低一ヶ月ぐらいの時間を確保するスケジュールを決めると同時に、あらかじめ各コミュニティに議論をお願いした方がよい。

2.7 今後の委員会開催日程

本原委員長から、6～9月の本委員会開催日の日程調整について説明があり、資料に記載の日程で照会することとした。

委員会は概ね2時間で開催の見込みのため、時刻は13:15～15:15とすることにした。

以上